

美和集落支援だより 令和5年12月号

美和総合支所 地域振興課
美和地域 集落支援員 鈴木
TEL:96-1111
FAX:96-0415



暖冬とはいえ、寒さが厳しい日もありますね。体調を崩されていませんか？早いもので年末です。みなさんにとって今年はどうな1年だったのでしょうか？

今月号では、担当地区の紹介をします。



～ 阿賀地区より ～

阿賀ふれあいセンターより



12月は阿賀ふれあいセンターにとって1年間のうちで忙しい月の1つです。

まずは収穫時期を迎えたこんにゃく芋を農家さんから仕入れます。今年は大きなものが多かったと聞きました。仕入れたこんにゃく芋の皮を剥いて下準備をします。手がかゆくなりそうなイメージですが、青空グループの方たちは慣れていて“へっちゃら”なのだそうです。こんにゃくづくり体験の準備はバッチリです。

他にはおもち加工もあります。お正月に食べるおもちを注文される方がたくさんいて、数日間に分けて加工します。「〇〇斗おもちをつくんだよ。」と聞いて、『斗』はあまり聞かない単位で、想像が追いつきませんでした。それでも昔に比べると少なくなったのだそうです。また、「お正月に食べるおもちを自分でつきたい！」と毎年おもちつき体験に来られる常連さんもいらっしゃるそうです。田舎では自宅や親族の家でのおもちつきをされる方が多いですが、当たり前なことではないのですね。自宅でのおもちつきが難しい方も体験を通して、年に1度は自分で作ったおもちを食べていただきたいですね。



阿賀のみなさんの2023年はどんな1年だったのでしょうか？

4月から集落支援員として着任し、わからないことばかりでしたが、みなさんのご協力のおかげで今年が無事に終わろうとしています。いろいろなことを体験させていただきありがとうございました。コロナの影響で行動が制限され、なかなか思うようにできなかったことが今年は少しずつできるようになりました。阿賀でもいろいろなイベントが開催され、たくさんの方が阿賀に来られました。少しでも多くの方に『阿賀地区』に興味を持ってもらうきっかけになっていればいいですね。来年も阿賀地区のみなさんにとって幸多き一年になることをお祈りいたします。





みなさんに知ってもらいたい！！

「わさび」と言われて、一般的に思いつくものは水がある沢で栽培されているものだと思います。ここで紹介するわさびは畑で栽培される畑わさびです。美和でも畑わさびを栽培している方がいらっしゃるのをご存じでしょうか。岩国のわさびといえば錦町のイメージを持たれる方が多いかと思います。美和でも栽培できるんです！！美和町秋掛の標高が高い地域で栽培されている方がいらっしゃいます。とても貴重な存在ですね。わさびは生育温度にうるさい作物で、寒すぎると生育が止まってしまう、暑すぎると枯れてしまいます。ミニトマトなどのようにちょっと庭先のプランターで...というわけにはいかず、少し特殊な環境が必要になり、収穫まで時間もかかります。難しいことはさておき、秋掛で栽培されているということがすごいですね。1月頃から収穫できる柔らかい葉っぱは岩国ではしょうゆ漬けで食べられることが多く、ごはんのお供にぴったりです。同じ時期に収穫される花はつぼみの状態で主に京阪神に出荷され、天ぷらやお浸しで食べられるそうです。わさびは薬味だけではないんです。是非一度ご賞味ください☆



わさびの苗。草丈は2～3 cmですが、これからじっくり大きくなっていきます。



がんばって大きくなっています！1月頃には菜の花に似たかわいい白い花が咲きます。

秋掛のみなさんの2023年はどんな1年だったでしょうか？

4月から集落支援員として着任し、アンケートを実施したり報告会などの協議を行ったりと多くの方にご協力をいただき、今年が無事に終わろうとしています。ありがとうございました。秋掛地区では8月には4年ぶりに納涼まつりが行われ、にぎわいました。また、空き家バンク制度を通じて新しい仲間も増えましたね。美和中学校のふるさと交流会では秋掛太鼓保存会の方が生徒に熱心に指導されている場面もありました。いろいろな場面に参加させていただき、たくさんの学びがありました。秋掛地区の新しい一歩に向けて、来年もよろしくお願いいたします。来年も秋掛地区のみなさんにとって幸多き一年になることをお祈りいたします。



～下畑地区～



12月16日、下畑交流館にて今年も下畑地区ふるさとづくり推進協議会が主催する『感謝のきもちの餅つき大会』が開催されました。

「せせらぎ朝市」「キッチンせせらぎ」に足を運んで頂いたお客様にその感謝の気持ちを伝えたい！との思いから企画されたイベントで、今年で3回目を迎えました。

当日は、たくさんの方に来場いただき、台唐(だいがら)や杵での餅つきをみんなで楽しみました。台唐とは、足踏み式で杵を上下に動かし、臼のなかのもち米をつく、昔ながらの餅つき機です。ついた餅は、きめ細かくとってもおいしいです！

初めて見た子ども達は「やってみたい！」と行列ができていました。足で踏むのも力があるので、地域の方と一緒に行いました。

餅つきを楽しんだ後は、下畑在住の演奏家ダビット・シラさんによるアフリカ太鼓の演奏♪リズムカルな太鼓が下畑地域に響き渡り、みんなで踊ったり手拍子したり、実際に太鼓を叩いてみたりしました。

「せせらぎ朝市」「キッチンせせらぎ」では地域内外の方々との交流の場として、皆様の憩いの場として、お客様の来場をお待ちしております。

せせらぎ朝市・キッチンせせらぎ ～日頃の感謝を込めて～



感謝のきもちの もちつき大会

2023.
12/16
土

9:00 頃～ もちつき
10:00 頃～ アフリカ太鼓演奏

昔懐かしい台唐での餅つきやります！
もちろん杵での餅つきもあるよ！

参加無料！
ぜひ遊びに来てね

・キッチンせせらぎはコーヒーのみの営業となります

毎週土曜日 せせらぎ朝市 8:00～12:00
キッチンせせらぎ 9:00～11:00
下畑交流館：岩手県美和町下畑 2004 番地

※年内は23日まで
初売りは1月13日
より営業いたします。

～長谷地区～

和紙づくり事業

今年度9年目を迎えた和紙づくり事業。集落支援員として持続可能な活動となるようサポートしています。今回は、美和中学校在校生が取り組んでくれた各作業の様子を紹介します。

和紙づくりは三桮を原料として使用し、原料のつなぎの役割として使われるトロロアオイも育てています。始めに1年生が、トロロアオイの収穫(10月)、三桮(みつまた)の収穫(12月)を行いました。トロロアオイの根の洗浄では、根のすき間にある土や石をキレイに取り除き、擦りすぎに注意しながら作業してくれました。

三桮の刈り取りではノコギリを上手に使い、今年も約100kgを収穫しました。

2年生は、三桮の皮剥ぎ・黒皮剥ぎそして異物取りを行いました。三桮の皮を剥ぎ、剥いだ皮の表面となる黒皮をナイフでそぎ落としました。長時間の作業でしたが、歌を口ずさみ楽しみながら行ってくれました。異物を取り除く工程でも地域の方々と一緒に丁寧に作業してくれました。

次回は、3年生による紙漉きの様子についてお伝えしたいと思います。

1年生の作業の様子



トロロアオイの収穫作業の様子



三桮の収穫作業の様子

2年生の作業の様子



三桮の皮剥ぎ作業の様子

